

奥中

CS

だより

～学校と地域がつながり、地域とともに歩いていく～

第7号

第2回学校運営協議会 3月8日（火）行いました！

2回目のCS委員会に8名の出席のもと、今年度最後の会議を行いました。「令和3年度の総括」として、今年度行った行事の反省と評価、次年度に向けての活動について話し合いを行いました。

会長挨拶では、「新型コロナウイルス感染症予防対策によって、子ども達の活動に制限があり我慢の学校生活等でいやな思いをしていたり、他国での戦争によって将来の不安をもっていたりしているのではないかな？地域で子ども達を励ませる活動にしていけたらいい。」というお話をいただきました。

会議では以下のことについて確認いたしました。

1. 体育祭の仮説トイレの設置
2. 薬物乱用防止教室
3. 交通安全啓蒙活動への協力
4. 読み聞かせ講習会（家庭科幼児ふれあい体験学習にむけて）

4月の「学校運営協議会」での積極的な話し合いによって、今年度も活発的なCS活動へつながったことも話題となりました。また、活動の数などについては、「回数を多く行うことで子ども達の負担が増えては本来のCS活動の姿ではないと考えられるので、そこを調整しながら活動を行っていきましょう。」ということも話し合われました。

発足から3年目を終え、さらに充実した取り組みにして行くことを確認し、反省と評価としました。



令和4年度に向けて ～4年目を迎えるにあたり～

回収しましたアンケートは集約後皆さんへお知らせすることとしました。

後半の会議内容は、次年度に向けて役員の依頼です。大きく分けて地域としては、青苗方面・奥尻方面になります。委員の人数のバランスも考えながらの選考をお願いしますと事務局から提案をし、お子さんが卒業と同時に勇退される学校PTA枠の委員1名のみで、全員留任と決まりました。

【役員】（敬称略）

会長：佐藤 和信 副会長：横田 稔

委員：三浦 敏幸 小山内真紀子 木下 広 杉山 静治 大須田洋介

最後に校長挨拶より、「1年間のご支援に感謝申し上げます。地域と学校をつなぐコーディネーターの役割として、次年度もご協力よろしく願いいたします。」と最後を締めくくり、今年度のCS会議は無事に終了いたしました。

